

2016年度
(平成28年)より
公演開始!

「金剛山のトラたいじ他」に次ぐ韓国・朝鮮の民話から第2弾!
(30年のロングラン作品)

オペレッタ おん
トラの恩がえし

エンディングは庶民の農楽(ノンアク)を楽しんでください。



子どもたちの一人一人の「生きる力」から人と人との「生き合う力」へ

はるか昔から、ユーラシア大陸の東にある大きな半島と列島の自然と人々が交わり、
他にない自然と文化を形作ってきました。

トラの毛皮で金儲けする人間とその人間を食うトラ。
トラと人間 いがみ合う二つの世界に、
あたたかい小さな灯がともります。
こえられないと思っていた心の壁がとけはじめます。

思いやりと優しさが心の垣根を取り除く
思いやりと優しさが新しい世界を開く

原作:韓国・朝鮮の民話から
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽他
脚本・演出・美術:韓国・朝鮮と日本チーム
出演者による集団創作(デバイジング)

オペレッタ劇団ともしび

171-0033 東京都豊島区高田1-12-17
電話03-6907-2731 FAX03-6907-3812
<http://www.tomoshibi.co.jp> Email info@tomoshibi.co.jp



オペレッタ おん トラの恩がえし

☆制作意図

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする韓国・朝鮮の昔話第二弾「トラの恩がえし」は、広く語り継がれているお話です。トラと人間がたがいに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎みあうという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。否蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日はありません。優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えて互いの人格を尊ぶ心を育てます。

芸術作品は子どもたちの心を育てます。

☆「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。

人間はトラの毛皮を宝物として珍重し、一方トラは人間を喰うので、お互いに恐れあい、憎みあっていました。

山奥で母親と二人で暮らす若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。思いがけず助けられたトラは、怪我が治ると木こりへの恩がえしを始めるのでした。

☆農楽(ノンアク)

韓国・朝鮮の農村で、旅芸人によって伝統的な踊り、芝居、演奏、パンソリ、曲芸などが村の広場(マダン)で行われた。集団は芸能の宝庫であり、村人は厳しい農作業を休み、ともにうたい、わらい、おどりあって一日を過ごしました。「トラの恩がえし」公演ではフィナーレを農楽が飾ります。

☆オプション

ワークショップとして全員参加で韓国・朝鮮の歌を覚えて一緒に歌います。また、「アリラン」「赤とんぼ」のコーポレーションが参加者の心をつにします。(15分程度)

上演時間: 60分 休憩なし オプション15分 暗幕不用 6人編成

受賞など

「ともしびバラエティ劇場」

平成3年度厚生省中央福祉審議会推薦文化財

「金剛山のトラたいじ他」

平成6年度厚生省中央福祉審議会特別推薦文化財

2002ソウル国際児童青少年舞台フェス招聘公演

平成14年度文化庁国際芸術交流支援事業(アシテジ世界大会)公演等

「シンプルプレイで2つの話ーうぬぼれうさぎと三びきのこぶた」

平成14年度厚生省厚労省社会保障審議会推薦児童福祉文化財

文化庁支援事業2009ラオス、カンボジア、ベトナム公演(三びきのこぶた)

これまでの主な作品

「シンデレラ」

「おむすびころりん」

「お月さんももいろ」

「ともしびバラエティ劇場」

「金剛山のトラたいじ他」

「ねこの家」

「いのちのバトン」

「シンプルプレイで2つの話ー

うぬぼれうさぎと三びきのこぶた」など

.....:2016年度～上演作品:.....

■おもしろどんどん■ (幼・保 児童館 小学校など) 1部「みんなで歌おう」2部オペレッタ「ごんべえかかし」

■ともしびバラエティ劇場■ (児童館 小学校など) 1部「むかし小話」2部オペレッタ「きつねの水あめ」

■なかにし博士!?がやってくる■ (幼・保 児童館 小会場作品)

■邦さんのおはなしげきじょう■ (幼・保 児童館 小会場作品)

■トラの恩がえし■ (小学校)